

滑川中学校区保護者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①防犯対策(1)	最近立て続けに、富山と新潟で凶悪な事件が発生した。登下校時の見守りを実施しているが、子どもが一人で歩かざるを得ない、見守りの空白地帯が存在する。子どもの安全を確保するために、防犯カメラの設置や警察機関との連携強化など、市として新たな施策はあるか。	突発的な事件については、どこでも起こりうることで、予測ができないため、事件・事故を起こすような人物が出ない社会を作っていかなければなりません。そのためには、食育で穏やかな心を育み、道徳や人としての尊厳を子どもの頃から教育していかなければならないと考えています。一方で、子どもたちの自己防衛にも力を入れる必要があります。防犯訓練への取り組み方を見直したり、市民や企業が一体となり、地域を見守る体制を確立したりするなど、色々な方法で、地域全体で子供たちを守っていきたいと思っています。
②給食費	第2子保育料無料化など、滑川市の子育て施策には恩恵を受けているが、保護者の経済的な負担をさらに軽減するために、他の自治体のように小・中学校の給食費の無償化や一部助成をすることはできないか。	保護者の負担を考えると給食費の無償化が実施できることが望ましいとは思いますが、実際には人件費などを公費で負担しており、保護者には材料費のみの負担をお願いしているところであり、引き続き負担をお願いしたいと考えています。
③防犯対策(2)	親として、子どもの危険を少しでも避けたいと思い、防犯カメラの設置を要望している。設置できるかできないか、はっきりとした返答が欲しい。	平成27年度に寺家小学校、平成29年度には早月中学校に防犯カメラを設置しました。また、交通安全の観点から、平成28年度から2年間にわたり、総合的な通学路の安全点検を行っています。今年度、両中学校区で、交通安全・防犯・防災の観点から、改めて点検する予定です。また、市の教育センターでは、不審者情報を取りまとめ、近隣市町村や市内小中学校に案内しています。今後も、保護者とも協力して、子どもたちの安全を守っていきたいと思います。
④教員の研修	滑川市の小学校の教育方法は他市と比較して遅れていないか心配である。先生たちの学習の場がなければ教育方法は改善されないと思うが、そういった場はあるのか。	これまでも小・中学校の先生方に対し、様々な学習の場を設けており、今年度も、全教員を対象とした学力とICTについての研修を行う予定です。講義を聴くだけでなく、グループワークなど実践的な研修も行っています。また、当市の小・中学校におけるパソコン普及率は全国比でみると高くなっており、科学理数教育推進のため、各学校のすべての普通教室にプロジェクター・スクリーン・実物投影機を導入しました。生徒が一人一台のパソコンを持てるように、順次整備しています。

滑川中学校区保護者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑤公園のフェンス	スポーツ・健康の森公園の芝生広場と海側の道路の高低差が大きいため、車道にボールが飛んで行って事故が起きるのではないかと心配している。早急に対応してほしい。	以前にご要望を受けた多目的広場の魚津側は、防球ネットを設置しました。今回の海側については、改めて現地を確認して検討したいと思います。
⑥学童保育	子どもを預ける時間について、保育所と比べ学童保育の方が短いため、子どもが小学校に上がると、勤務時間を短くせざるを得ない。市内に一箇所でも良いので、午後9時頃まで児童を預かってくれる施設があれば、安心して働くことができる。	女性の社会進出が進み、共働き家庭の増加や残業などにより、子どもを早く迎えに行けなくなっていることと認識しています。社会の流れに合わせて、子どもの居場所づくりについて検討したいと思います。
⑦保護者向けの語る会	夕方から夜にかけては、子どものいる家庭は、ご飯やお風呂、習い事など大変忙しい時間帯である。「市長と語る会」に、このような保護者がより多く参加できるよう、託児所を併設し、DVDの上映をしたり、食事の提供を行ったりなどの工夫をしてはどうか。	ご提言について、検討したいと思います。